

市民と野党の力で勝とう！

「憲法壊す政治を変える！」—東京20区は、幅広い市民と野党が力をあわせる選挙に。初日から、市民や様々な会派、無所属の地元の市議会議員が次つぎマイクをにぎって宮本さんの応援に立ちました。その要旨を紹介します。

立憲3党で強大な勢力を

東京大学元副学長 広渡清吾さん

私は学生たちに、憲法9条は国民の希望と話してきました。9条を安倍さんといっしょに改悪する小池新党が「希望の党」というのは悪い冗談です。

自民党は、憲法9条に自衛隊を明記すれば安保法制は合憲になり、自衛隊によっていつでも戦争できることを、憲法上、認めた国家になります。

この危機的な状況を突破するためには、立憲3党、共産党、社民党、立憲民主党が、国会で強大な勢力をつくりあげなければなりません。そのたたかひの先頭に立つのが宮本徹さんです。大きく支持をひきあげてください。

日本の行く道を変えよう

東村山市議 島崎よう子さん

数を頼みにして、強行採決をしていく安倍政権。これは民主主義とはいいません。

私には孫がいます。孫にもこのときの選挙で何もなかったんだと言いたくない、できる限りのことはやってやってやったんだ、そして日本の行く道を、舵を変えたんだよ、と話したいと思います。

市民と野党の共同候補の宮本さんを国会に出して行きましょう。

第一声

応援演説特集



対決の構図 ハッキリした

東大和市議 中野しのぶさん

以前、民主党の総支部長として20区の担当もしていました。もともと民進党内部にはいろんな人がいて、戦争法を容認する方もいました。希望の党の登場によって民進党がなくなる一方、立憲民主党ができました。戦争法を容認し、9条を変えていこうという勢力と、戦争法にノーと言い、もう一度この9条の観点から平和を考えようという人たちにはっきり分かれて非常にわかりやすくなった、そう思っています。

今回、この選挙区、今の安倍政権にノーと言えるのは、宮本さんしかいません。私も立場は違いますが、共産党の宮本さんをぜひこの選挙区では勝たせたい、みなさんのご協力をよろしくお願いします。

憲法守る骨のある候補を

東村山市議 浅木直子さん

いま私たちにふりかかっている最大の、そして深刻な問題は憲法九条を改定されてしまうかどうか、だと私は思っています。

自民党、安倍政権は言うまでもありませんが、希望の党も憲法改正を表明しております。

平和憲法を守るために、子どもたち、自分たちの大切な家族を戦場に送ることがないように、ぜひ宮本さんには国会でたたかっていたきたいと思っています。骨のある野党候補を国会に送り出して、ぜひ私たちの代わりにたたかっていたきたいのです。